

あっ、危ない！ その場所、その靴、その行動
転倒による災害や事故を
撲滅しよう！

一般編



平成26年11月

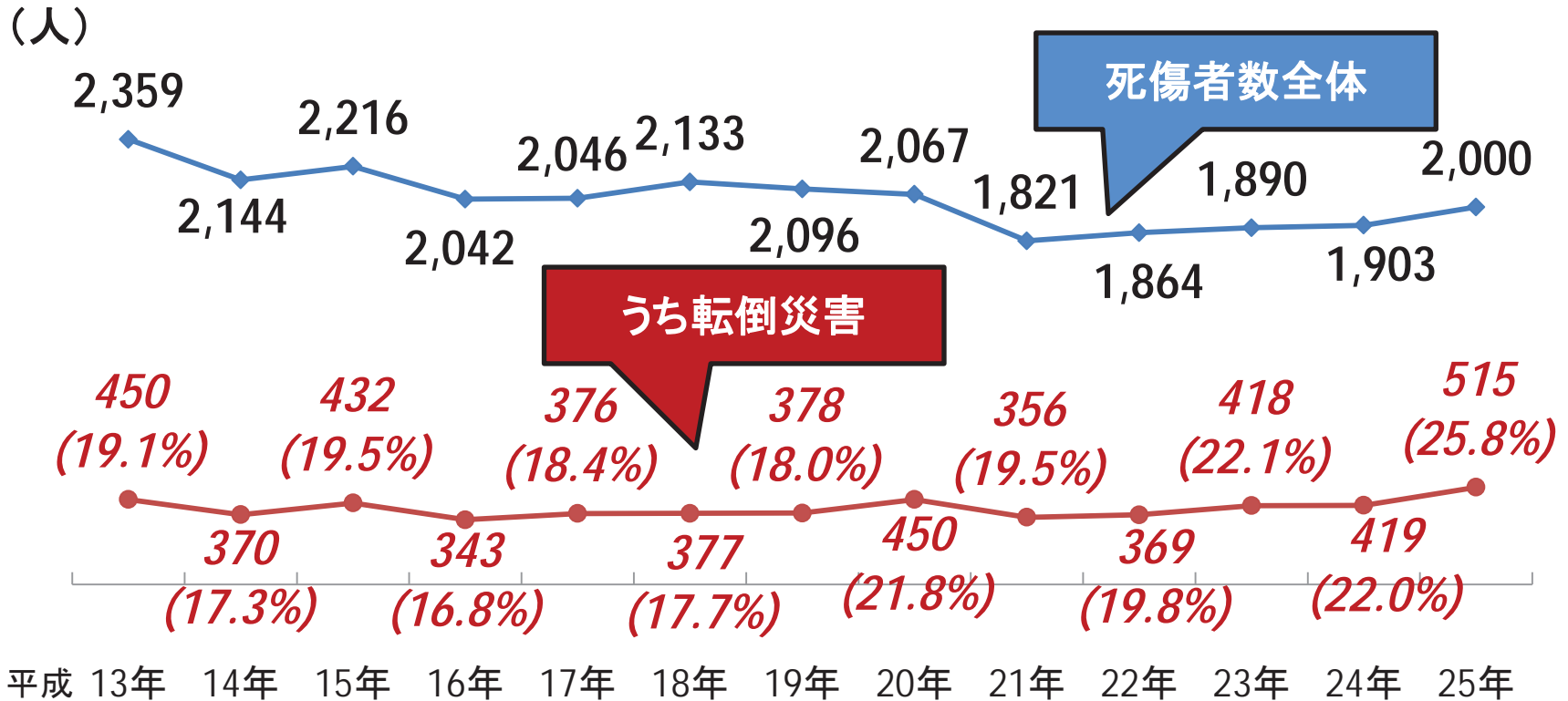
編集：長野労働局労働基準部健康安全課

転倒による災害や事故は、職場や日常生活の中で、身近に発生しています！

職場では…

転倒災害は、労働災害全体の約2割を占めており、近年さらに増加しています。

転倒災害発生件数の推移(単位:人 ()は全体に占める割合)

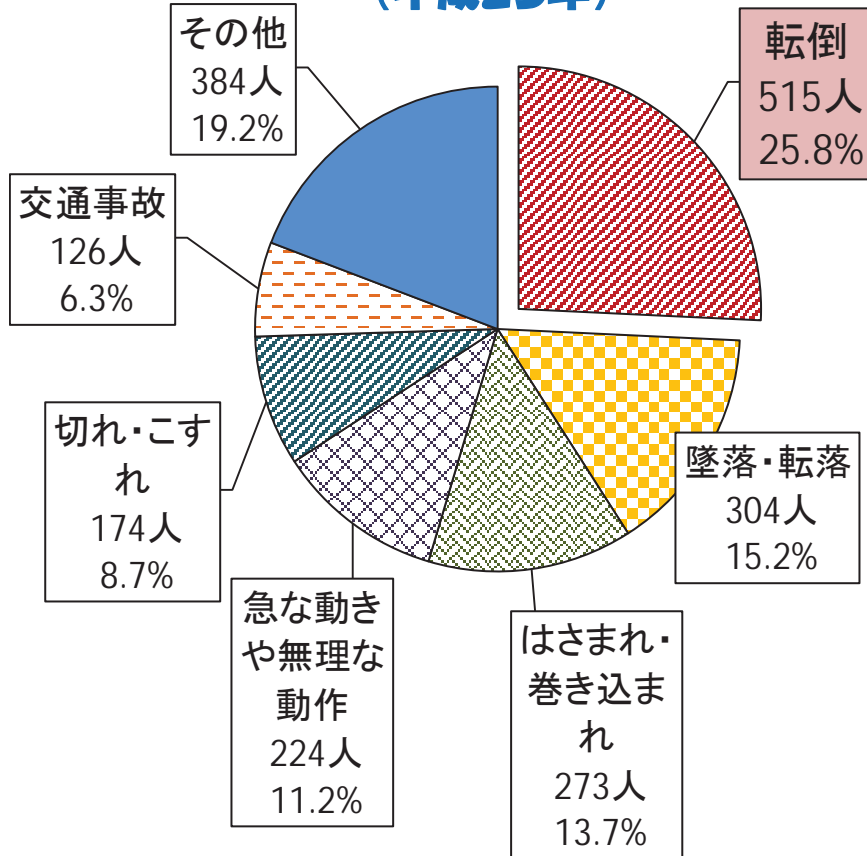


転倒による災害や事故は、職場や日常生活の中で、身近に発生しています！

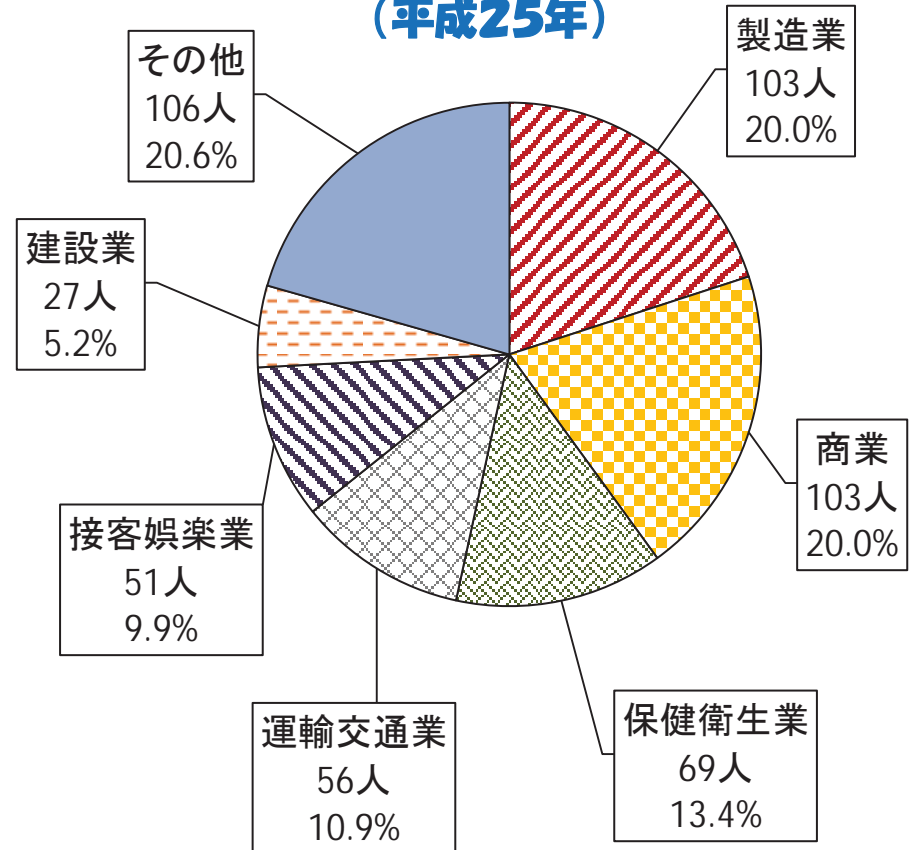
職場では・・・

平成25年の転倒災害は515人で最も多くなっています。
また、製造業や商業などで、多く発生しています。

●どんな事故が起きているの??
(平成25年)



●転倒災害はどんな業種で起きているの??
(平成25年)



資料：長野労働局「労働者死傷病報告」

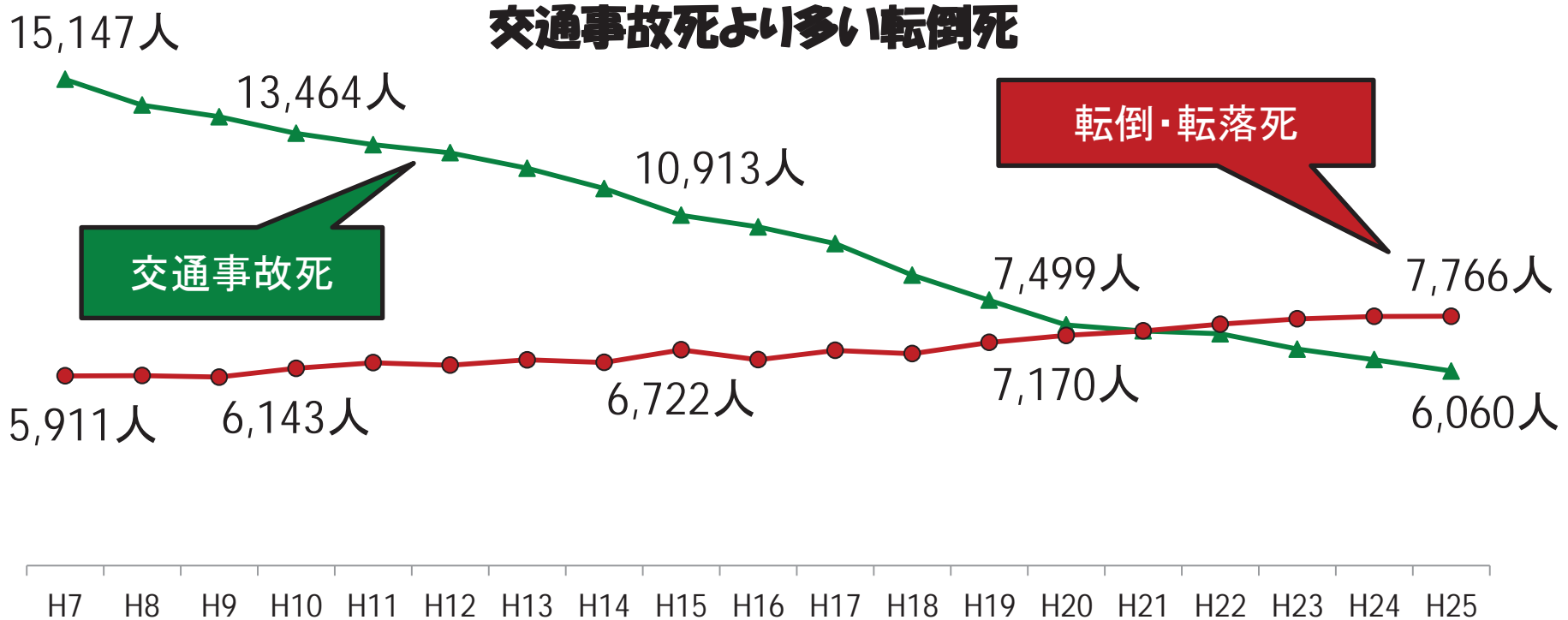
転倒による災害や事故は、職場や日常生活の中で、身近に発生しています！

日常生活では...

今や国民的課題です！！

平成7年に約1万5千人だった交通事故死は、平成25年には約6千人と半分以上に減少しています。

一方、転倒・転落による死亡は、じわじわと増え続け、平成25年には7,766人に達しています。また、大半が、65歳以上の高齢者です。



資料：厚生労働省「人口動態統計 死因分類別死亡者数の推移」

長野労働局転倒災害防止対策検討会を設置

～転倒災害の実態を調査し、有効な防止対策を検討～

背景

- 長野県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成22年から4年連続で増加さらに、平成26年5月末現在で対前年同期比6.5%の増加
- 平成25年における休業4日以上死傷者数のうち、転倒災害の占める割合が約4分の1平成26年は更に増加傾向で推移
- 1月～3月期に発生した転倒災害のうち、積雪・凍結等の冬季要因によるものが約7割

課題

- 転倒災害の発生状況について、詳細な実態把握が必要
- 転倒災害の発生原因について、多角的な側面から調査分析が必要
- 分析結果を踏まえて有効な防止対策を検討し、事業場のみならず、転倒事故は日常生活においても発生するという観点から、社会全体にも普及啓発を図ることが必要



経過

- 長野労働局内に「長野労働局転倒災害防止対策検討会」を設置
〔平成26年7月25日 第1回検討会開催〕
- 平成25年度に発生した転倒災害について、発生状況及び原因の詳細を調査
〔平成26年8月 長野労働局及び労働基準監督署による通信調査〕
- 調査結果をもとに、転倒災害の発生原因及び有効な防止対策等について分析検討
〔平成26年9月29日 ワーキング・グループ開催〕
- 転倒災害防止対策及び周知啓発に向けた効果的な取組を検討し、報告書を取りまとめ
〔平成26年10月28日 第2回検討会開催〕

長野労働局転倒災害防止対策検討会の構成員

長野労働局

- 労働基準部長(座長)
- 健康安全課長
- 主任産業安全専門官
- 主任労働衛生専門官
- 産業安全専門官

労働基準監督署

- 長野労働基準監督署
安全衛生課長
- 松本労働基準監督署
第2方面主任監督官

地方自治体

長野県

労働災害防止関係団体等

- (一社)長野県労働基準協会連合会
- 建災防長野県支部
- 陸災防長野県支部
- 林災防長野県支部
- (一社)長野県経営者協会
- 長野県中小企業団体中央会
- 連合長野

有識者等

- 佐久大学看護学部教授
日本転倒予防学会理事 征矢野あや子 氏
- (公財)労働科学研究所客員研究員
工学博士 永田久雄 氏
- HSC健康科学コンサルティング(株)長野営業所長
長野産業保健総合支援センター産業保健相談員 今井千一 氏
- ミドリ安全長野(株)
代表取締役 金子明裕 氏

転倒災害発生状況等の詳細調査を実施

～長野労働局～

対象：平成25年4月～平成26年3月までに発生した転倒災害(休業4日以上)
約500件

〔労働者死傷病報告から抽出(人の転倒に限る。)]

1 事業場調査結果から見えてくる重点対象 (管理的要素)

原因分析と対策の検討は全員参加で組織的に実施する！ 正しい作業方法や行動指針を具体的に指導する！

◆①小売業、②社会福祉施設、③食料品製造業 で多発

◆100人未満(約7割)、特に10人～49人が約35%と最も多い

課題

- ① 安全管理者等を選任している、又は安全委員会を開催している事業場においても、再発防止対策の検討が不十分
- ② 経営トップ、安全管理者等、労働者による全員参加の取組が必要
- ③ 日ごろの安全対策は、「注意喚起」が中心
- ④ 形式的ではなく、より具体的な指示、取組が必要

2 本人調査結果から見えてくる被災労働者像（人的要素）

転倒リスクの高い高年齢労働者への配慮が必要！ 雇入れ時の教育を重点的に！

- ◆女性の割合が高い(約54%)
- ◆40歳以上が8割超、特に50歳～59歳が約32%と最多
- ◆パートなどの非正規雇用労働者が約6割
- ◆多い職種は、①現場作業(工場)、②接客サービス、③医療・福祉サービス
- ◆勤続10年未満が約65%
- ◆発生原因は、「あわてていた、急いでいた(走った)」が54%でトップ
- ◆過去に転倒経験のある者が3分の1、ヒヤリ・ハットも複数回経験
- ◆体力づくりのための運動等は、「特に何もしていない」が約35%でトップ

課題

- ① 中高年齢労働者、特に高年齢者は休業日数が長期化
- ② 非正規雇用労働者は継続的な教育が困難
- ③ 注意喚起等の表示は見ない人が多い

3 本人調査結果から見えてくる発生状況（施設・設備的要素）

転倒災害の危険源を特定し、リスクを除去・低減する！「こういう時は滑りやすい」など転倒のメカニズムを理解し、具体的に注意喚起する！

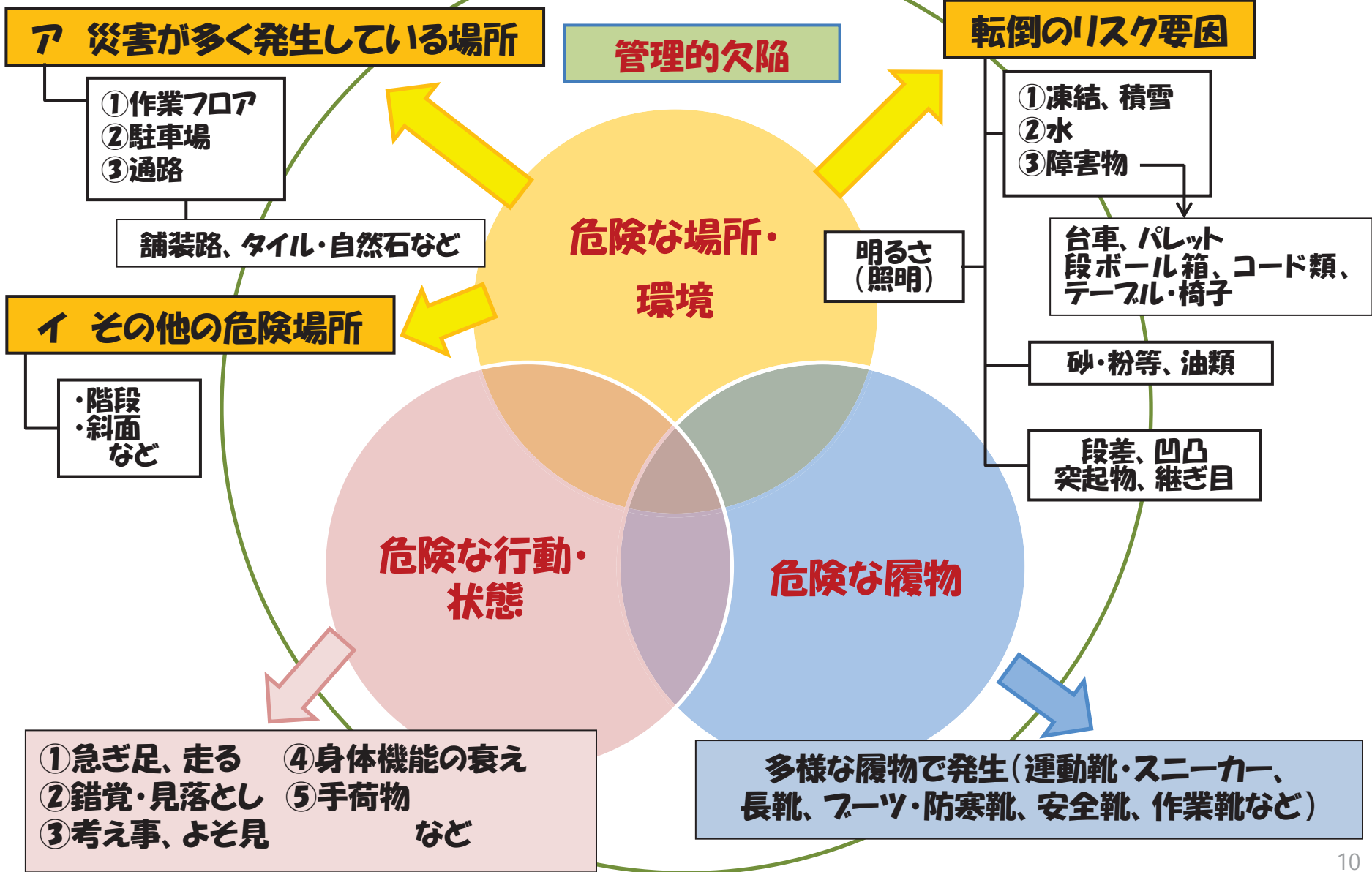
- ◆被災場所は、作業フロア、駐車場、通路などの会社敷地内が**66%**
- ◆転倒面は、舗装路、タイル・自然石・人造石が半数
- ◆段差(**30%**)や、積雪・凍結(**38%**)、水(**27%**)、障害物(**27%**)、砂・粉等(**6%**)、油類(**4%**)がある場所で発生
- ◆発生態様は、滑る(**57%**)、バランスを崩す(**15%**)、つまづく(**12%**)、踏み外す(**5%**)
- ◆滑りによる転倒災害は、**12月～3月に集中(75.3%)**

課題

- ① 屋外型産業を除き、対策が可能な会社敷地内で多発
- ② 段差や凍結・積雪、水、油類、障害物等が転倒のリスク要因となし発生
- ③ 凍結・積雪による転倒災害が全体の約4割

4 実態調査結果から見えてくるリスク要因

転倒災害は、危険な場所・環境、危険な行動・状態、危険な履物の3つのリスク要因に管理的欠陥が重なって発生！



5 リスク要因を踏まえた防止対策

◆ 管理的欠陥

- 安全管理者等の職務履行及び安全委員会活動の充実強化による防止対策の確実な実施
- 注意喚起にとどまらず、的確かつ具体的な指示、設備や保護具(履物)の改善、4Sの徹底、リスクアセスメント・体力づくり等の活動促進など実効性のある取組の推進

◆ 危険な箇所・環境

災害が多く発生している場所

その他の危険個所

転倒のリスク要因

《発生態様》

滑り
つまずき
踏み外し

バランスを
崩す

- リスクアセスメント、一人KYの実施
- 除雪、融雪、凍結防止、4Sの徹底
- バリアフリー(段差、凹凸、突起、継ぎ目の解消)
- 手すり、滑り止めマット等の設置、保護具の使用
- 照明器具の設置、点検
- 危険個所の表示など危険の「見える化」の推進

- 安全教育の実施(安全な歩き方、禁止事項)
- 注意標識等の設置
- 体力づくり・転倒予防体操・エクササイズの推進

- 耐滑性のある履物の使用
(転倒リスク要因別、床面状態別)

◆ 危険な行動・状態

◆ 危険な履物

6 転倒メカニズムを踏まえた対策

「滑る」、「つまずく」、「踏み外す」の3類型について、発生のメカニズムを理解して適切な対策を講じる！

滑りのメカニズム

- ◆ 急ぐほど滑る
- ◆ 歩幅が大きくなるほど滑る
- ◆ 曲がる時、方向転換する時に滑る
- ◆ 重い物を持つほど滑る
- ◆ 昇りより、下りで転倒しやすい

- ◆ 一步一步ゆっくり歩く
- ◆ 歩幅を小さく
- ◆ 足裏全体で着地
- ◆ できるだけ両手を自由に
- ◆ 防滑性のある履物を履く

つまずきのメカニズム

- ◆ 小さな段差ほどつまずきやすい
- ◆ 段差は降りる方向から見えにくい
- ◆ 障害物が段差を遮る

- ◆ バリアフリー(段差、凹凸、突起、継ぎ目の解消)
- ◆ 危険個所の表示など危険の「見える化」の推進
- ◆ 4Sの励行

踏み外しメカニズム

- ◆ 急いでいるときに踏み外しやすい
- ◆ 降りる時に踏み外しやすい
- ◆ 階段を降りるとき、出入口で踏み外しやすい
- ◆ 暗い照明の階段で踏み外しやすい
- ◆ 昇りより、下りで転倒しやすい

- ◆ 階段の昇降はゆっくりと(走らない)
- ◆ 危険個所の表示など危険の「見える化」の推進
- ◆ 4Sの励行
- ◆ 十分な照明の確保
- ◆ ポケ手、ながら行動の禁止

7 業種による特殊要因を踏まえた対策

貨物自動車運転者の労働災害の約7割は荷役作業中に発生！

災害発生場所は、荷主等の倉庫や通路などが約7割！

図1：作業種類別労働災害発生状況

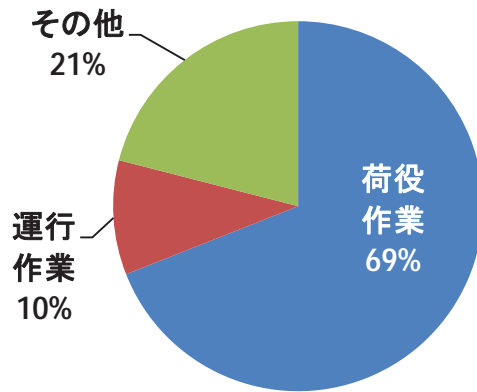


図2：労働災害発生場所の内訳

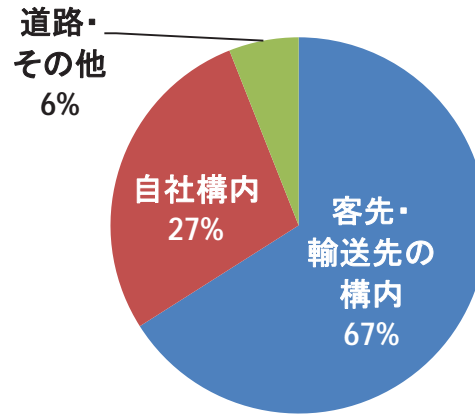
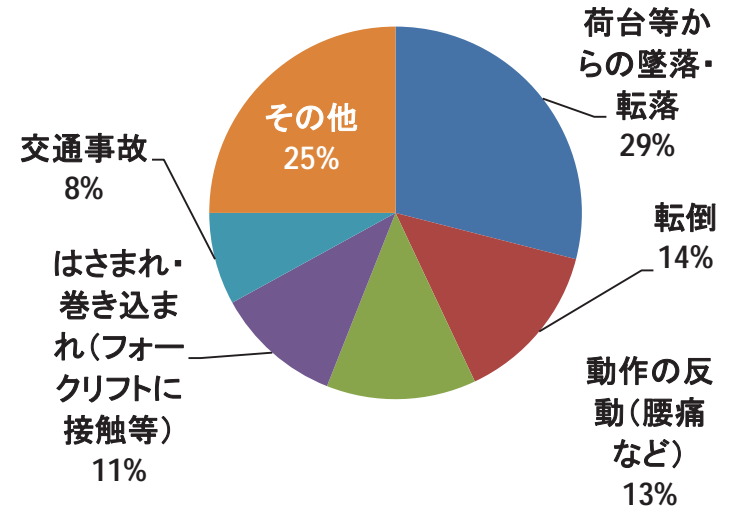


図3：事故の型別労働災害発生状況



荷主等は、「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づき、自社構内での荷役作業の安全確保に努める！

- 荷役作業の担当者を指名する！
- 労働災害防止のため陸運事業者と安全衛生を協議する場を設置する！
- 陸運事業者に荷役作業を行わせる場合は、「安全作業連絡書」により事前に通知する！
- 荷役作業場所の整理・整頓を心がける！
- 荷役作業場所の段差をなくす、床面の防滑対策を講じる等に取り組む！ など

転倒災害や事故を防ぐために、心がけることは？？

一般編

1. 転倒災害は、どんなところで発生しているの??



危険な場所や環境に応じて、具体的な対策を講じる

リスク要因…その1

転倒災害が多発している場所は危険！
(作業フロア、駐車場、通路、階段、斜面など)



リスクアセスメントやKY活動を通じて

身近にどんな危険が潜んでいるか
みんなでチェックしましょう!!

チェックポイント

- 作業フロアや通路などに、段差や凹凸、突起物、継ぎ目などはありませんか？
- 床面に、凍結や水たまり、油、砂、粉、障害物などはありませんか？
- 照明器具は、十分な明るさが確保されていますか？
- 階段や斜面は、安全に歩けるようになっていますか？



対策…その1



私は、こうする！ チェックする！

- 作業フロアや通路などの段差や凹凸、突起物、継ぎ目などを解消する！

バリアフリーで、高年齢労働者にも優しく！

- 床面の凍結や水たまり、油、砂、粉、障害物などは、すぐに取り除く！

4Sの徹底
(整理、整頓、清掃、清潔)

- 照明器具を点検し、明るいものに取り換える！

足元の明るさは大丈夫？

- 階段や斜面には、手すり、滑り止めなどを設ける！

危険の「見える化」で、
慎重に行動できる！

- 危険個所には、見やすい場所に「注意喚起」のステッカーなどを貼る！

職場の取組・・・ワンポイントアドバイス

その1・・・4S活動(災害の原因を取り除く！)

「4S」とは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」のことで、
これらを日常的な活動として行うのが「4S活動」です。

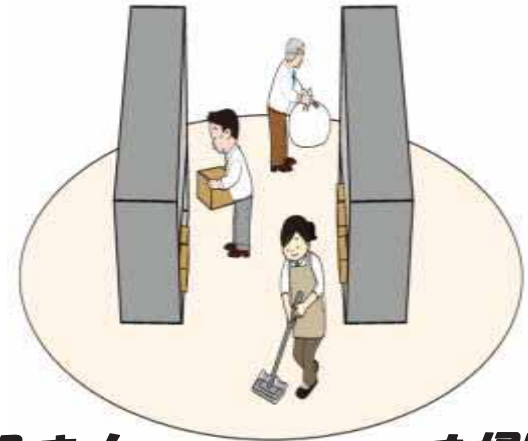
- ◆ 4S活動は、労働災害の防止だけではなく、作業のしやすさ、作業の効率化も期待できます。
- ◆ 荷物やゴミなど、物が散らかっている職場や、水や油で床が滑りやすい職場は、災害の危険が高くなります。

4Sの基本は・・・

「必要な物が、
必要なときに、
必要な場所に、
必要な数(量)だけあるように
心がけること！」

かたづけ！

分別！



床ふき！

お掃除！

職場の取組・・・ワンポイントアドバイス

その2・・・危険予知(KY)活動(潜んでいる危険を見つける！)

危険予知活動は、作業前に現場や作業に潜む危険要因とそれにより発生する災害について話し合い、作業者の危険に対する意識を高めて災害を防止しようというものです。



(作業の状況)

商品の仕分け作業庫で、商品を運搬しています・・・



どのような危険が
潜んでいるでしょうか？

・大きな荷物を抱えているため、床面の
水たまりに気づかず、滑って転倒する。

○ 対策

- ・床面に散水したときは、すぐに拭き取る。
- ・商品を運ぶときは台車を使用する。

⇒ 始業前に職場で「その作業では、どんな危険が潜んでいるか」を話し合い、「これは危ない」というポイントについては対策を決め(「○○ときは、○○する!」)、作業のときは、一人ひとりが「指差し呼称」をして行動確認します。

職場の取組・・・ワンポイントアドバイス

その3・・・危険の「見える化」(危険を知らせる！)

危険の「見える化」は、職場の危険を可視化（＝見える化）し、従業員全員で共有することです。

- ◆ KY活動で見つけた危険のポイントに、ステッカーなどを貼りつけることで、注意を喚起します。
- ◆ 転倒や衝突などのおそれのある箇所が分かっていたら、慎重に行動することができます。

危険の「見える化」の例

通路の交差部等に「死角」があり、歩行者同士がぶつかる危険がある。



「死角」で見えない他の歩行者にいち早く気付くよう、天井に凸面鏡（ドームミラー）を設置。



凸面鏡を設置することで、死角位置（写真の事例では右側方向）から接近する他の歩行者を「見える化」した。

ステッカー表示例



2. どんな行動や状態が危ないの??

危険な行動や状態を理解し、慎重に行動する

リスク要因…その2

あわてる、錯覚、見落とし、考え事、よそ見、手荷物、身体機能の衰えなど…

転倒のメカニズムをよく理解する!!
「なぜ急いでいたのか」、「なぜあわてていたのか」…背景を分析し、人の配置や仕事の仕方など管理面の対策を講じる!!

- 作業フロアや通路を走ったり、急ぎ足で歩いていませんか?
- 急いだり、あわてていた背景を分析し、管理面の対策を講じていますか?
- 荷を運ぶ時に、両手がふさがっていませんか?
- 階段などで、ポケットに手を入れたまま、書類を見ながら、携帯電話を使いながら、人と話をしながら歩いていませんか?
- 運動不足で、体が硬くなったり、バランス感覚や体力が落ちていませんか?

チェックポイント



「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」は こうすれば防げる！

① 滑りのメカニズム

- ◆急ぐほど滑る
- ◆歩幅が大きくなるほど滑る
- ◆曲がる時、方向転換するとき滑る
- ◆重いものを持つほど滑る
- ◆昇りより、下りで転倒しやすい

対策は・・・



- ◆急がず、走らず、慎重に行動する！
- ◆歩幅を小さく！
- ◆できるだけ両手をふさがない！
- ◆重い物を運ぶときは、台車などを使う！
- ◆滑りにくい履物を履く！

「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」は こうすれば防げる！

② つまずきのメカニズム

- ◆小さな段差ほど、つまずきやすい
- ◆段差は、降りる方向から見えにくい
- ◆障害物が段差を遮る

対策は・・・



- ◆バリアフリー(段差、凹凸、突起、継ぎ目の解消)！
- ◆危険個所の表示など危険の「見える化」の推進！
- ◆4Sの励行！

「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」は こうすれば防げる！

③ 踏み外しのメカニズム

- ◆急いでいるときに踏み外しやすい
- ◆降りるときに踏み外しやすい
- ◆階段を降りるとき、出入口で踏み外しやすい
- ◆暗い照明の階段で踏み外しやすい
- ◆昇りより、下りで転倒しやすい

対策は・・・



- ◆階段の昇降はゆっくりと(走らない)！
- ◆危険個所の表示など危険の「見える化」の推進！
- ◆4Sの励行！
- ◆十分な照明を確保する！
- ◆ポケットに手を入れたままあるかない！
- ◆「ながら行動」はしない！

対策…その2

私は、こうする！ チェックする！

- 作業フロアや通路などでは、急がず、走らず、足元に注意して慎重に行動する！
- 「なぜ急いでいたのか」「なぜあわてていたのか」という背景を分析し、人の配置や仕事の仕方など管理面の対策を講じる！
- 荷を運ぶ時は、台車などを使用する！
- 階段などでは、ポケットに手を入れたり、書類を見ながら、携帯電話を使いながら、人と話をしながら歩かない！
- 日ごろからストレッチや適度な運動を取り入れ、転倒予防のための体力づくりを心がける！

3. どんな履物を選べばいいの??

滑らない履物はない! 滑りにくい履物を選ぶ!

リスク要因…その3

転倒災害は、
多様な履物で発生!

- ・運動靴
- ・スニーカー
- ・長靴
- ・ブーツ
- ・防寒靴
- ・安全靴
- ・作業靴
- など…



作業内容や作業環境と履物の相性を理解する!
履物は、転倒防止のための「保護具」です!

チェックポイント

- 作業内容やリスク要因(水、油、砂、粉、凍結など)に応じて、滑りにくい靴底の履物を使用させていますか?
- 点検責任者を指名し、定期的に履物の状態を点検させて、靴底がすり減っている場合は、新しいものに取り替えさせていますか?

対策…その3

私は、こうする！ チェックする！

- **作業内容や作業環境、床面の状態(水、油、砂、粉、凍結など)に適した滑りにくい履物を使用させる！**
- **点検責任者を指名し、定期的に靴底の状態をチェックさせて、靴底がすり減っているような場合は、新しいものに取り替えさせる！**

滑りにくい靴底の例

<p>食品工場(ライン) 飲食店 フロア作業</p>	<p>食品加工 厨房 水を使う作業 薬品取扱い</p>	<p>配送業 倉庫作業 飲食店</p>	<p>屋根上作業 内装業</p>
<p>合成ゴム底</p>	<p>PVC底</p>	<p>合成ゴム底</p>	<p>合成ゴム底</p>
			
<p>一般製造 組立ライン 内装業 建設業</p>	<p>一般製造 組立ライン 建設業</p>	<p>熱職場 金属加工業 (切粉が出る) 建設業</p>	<p>一般製造 (油作業)</p>
<p>発泡ウレタン底</p>	<p>発泡ウレタン底</p>	<p>ラバーテック底</p>	<p>低発泡ウレタン底</p>
			

※スリッパサインで、溝の状態をチェックすることができるようなシューズも市販されています！

高齢者向けシューズの例 (平成21年3月「高年齢労働者に配慮した職場改善マニュアル」から抜粋)

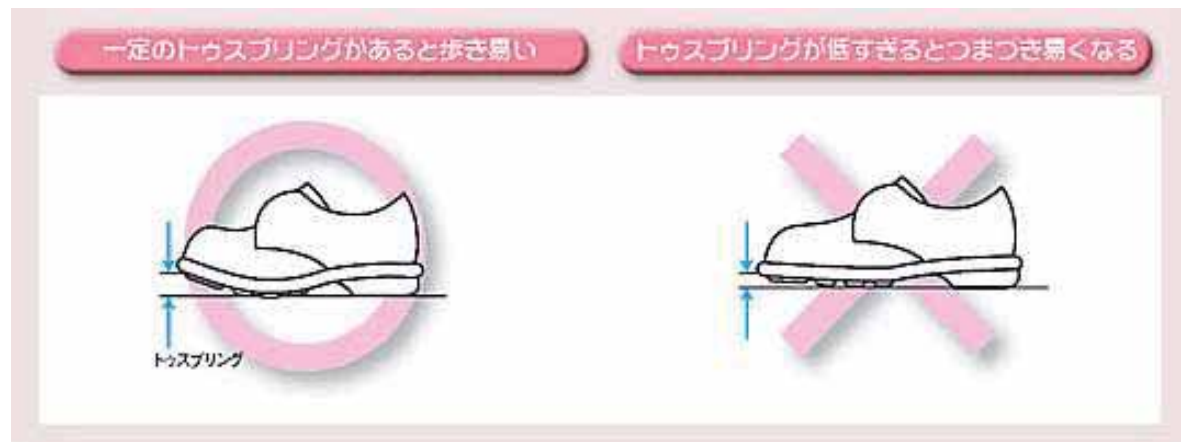
靴の重量バランスの改善!

つま先部に重量が偏っていると、高年齢労働者はつまずきの要因となるので、樹脂先芯化で靴の重量バランスを改善する。



つま先の高さを確保! (トゥスプリング)

つま先部の高さが低いと、高年齢労働者はつま先部を床にぶつけないようにつまずき事故が生じやすくなるので、つま先部の高さを確保する。



転倒予防のための「いきいき安全体操」のすすめ・・・

「いきいき安全体操」は、バランス能力、敏捷性、筋力を向上させるための運動プログラムで、約5分間、音楽に合わせて立ったままで行います。

全身ストレッチと、平衡機能・敏捷性・下肢筋力の向上を目的とした5つの動作の繰り返しで構成されています。

転倒予防のための体力づくりに、みんなで実践してみましよう！

※転倒災害防止と身体機能改善を目的として、マツダ(株)安全健康防災推進部健康推進センターのトレーナーが考案、実施された効果的なプログラムです。

図1 つま先かかと立ち:足関節の背屈・底屈(つま先を上げる前脛骨筋の強化) つま先かかと立ち4回×2セット



図2 フォアードランジ:前後方向への重心移動、上肢の前後方向への素早い動作(バランス能力、上肢・下肢敏捷性、下肢筋力、股関節可動域の向上) (右足踏み出し2回→左足踏み出し2回)×2セット



図3 つま先タッチ:垂直方向への重心移動(バランス能力、敏捷性、筋力、股関節可動域の向上) (右足タッチ2回→左足タッチ2回)×8セット



図4 サイドランジ:左右方向への重心移動、急速な下肢の左右方向への踏み出し、上肢の左右方向への素早い動作
(バランス能力、上肢・下肢敏捷性、下肢筋力、股関節可動域の向上)
(右足踏み出し2回→左足踏み出し2回)×2セット




図5 片足スクワット:垂直方向への重心移動(バランス能力、筋力、足関節・股関節可動域の向上)
(右足2回→左足2回)×2セット



職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その1


業種・職種	発生状況	
飲食業・ウェイトレス	客に提供する料理をトレイに載せて運ぼうとしていたときに、厨房の出入り口付近に置いてあったごみ箱につまずいて転倒し、割れた皿で右手親指の付け根付近を切った。	
年代・性別		
40代 女性		
怪我の程度		
休業6日		

再発防止のワンポイントアドバイス

- 床面に物を置かない！ 転倒災害防止の基本も「整理・整頓」！
- 両手で物を運ぶ時は、特に足元注意！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その2


業種・職種	発生状況	
小売業・配達員	新聞配達先で、玄関に向かって歩いているとき、暗かったため、アプローチの石畳の溝に気づかず、足が溝に引っかかり、捻ってしまい捻挫した。	
年代・性別		
50代・女性		
怪我の程度		
休業3週間		

再発防止の7ポイントアドバイス

- 夜間はヘッドランプなどを携帯し、通路の状況をよく確認する！
- 足元に注意して、慎重に行動する！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その3


業種・職種	発生状況	
小売業・販売員		
年代・性別	豚肉を冷蔵保管庫に取りに入ったところ、床に氷が張っていたため、滑って転倒し、左手首を捻挫した。	
30代・女性		
怪我の程度		
休業11日		

再発防止の7ポイントアドバイス

- 床の水たまりや氷は放置せず、その都度取り除く！ 「清掃・清潔」を徹底する！
- 滑りにくい靴底の履物を着用する！
- 足元に注意して、慎重に行動する！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その4


業種・職種	発生状況	
小売業・販売員	店舗裏の資源ゴミ置き場へゴミの入った段ボール箱を2人で運んでいた。被災者は後ろ向きで運んでいたため、進行方向に積んであった新聞紙の束に気づかず、足が引っ掛かりバランスを崩して転倒した。	
年代・性別		
40代・女性		
怪我の程度		
休業10日		

再発防止のワンポイントアドバイス

- 通路に物を置かない！ 転倒災害防止の基本も「整理・整頓」！
- 大きな荷物を運ぶ時は、台車を使用する！
- 二人で荷物を運ぶ時は、お互いに声を掛け合い、足元注意しながら慎重に行動する！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その5


業種・職種	発生状況	
社会福祉施設 介護職	職場の事務所内で、朝の会議終了後、自分の席から向かい側の机の所まで資料を取りに行き、戻る際にストーブのコードに足を引っかけてしまい転倒した。	
年代・性別		
50代・女性		
怪我の程度		
休業1か月		

再発防止のワンポイントアドバイス

- 床面のコード類は、つまずいて転倒する要因になります。コード類は整理して床に這わせない！「整理・整頓」を徹底する！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その6


業種・職種	発生状況	
食料品製造業 製造工	空のコンテナを4段積んで持ちながら現場内を歩行していたところ、通路に置いてあった台車が見えなかったため、台車につまずいて転倒し、膝を強打した。	
年代・性別		
50代・女性		
怪我の程度		
休業1か月		

再発防止の7ポイントアドバイス

- 大きな荷物を運ぶ時は、台車を使用する！
- 通路に台車を放置しない！ あらかじめ台車の置き場所を決めておく！ 置き場所にはペイントなどによる表示も忘れずに！

職場では、実際にこんな災害が起きています

事例研究 その7

業種・職種	発生状況	
食料品製造業 製造工	ビスケットの製造ラインで作業を行っていたときに、高さ約30cmの踏み台に上ろうとしたところ、床面がビスケットの粉で滑りやすくなっていたためスリップして転倒した。	
年代・性別		
60代・女性		
怪我の程度		
休業1か月		

再発防止の7ポイントアドバイス

- 砂や粉なども滑る要因のひとつです。床面の清掃、清潔を徹底する！
- 砂や粉などに適した滑りにくい靴底の履物を着用する！

自己チェックしてみよう！！

転倒災害防止のためのチェックリスト(事業主・管理者用)

	チェック項目	はい	いいえ
1	安全衛生委員会などで、転倒災害防止対策を組織的に検討し、具体的な対策をとっていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	実施担当者を指名し、作業フロアや通路などの4S(整理・整頓・清掃・清潔)活動を徹底していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	KY(危険予知)活動やヒヤリ・ハット体験の収集などにより、従業員の危険感受性を高めたり、安全意識の高揚を図っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	事業場内で転倒災害の危険源を把握し、リスクを除去・低減する取組(リスクアセスメント)を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	危険個所の表示など危険の「見える化」を図っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	従業員に対して、正しい作業方法や行動指針(こういう時は、こうする)を、的確かつ具体的に指示、教育していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	責任者を指名し、作業に適した滑りにくい履物を使用させていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチや体操など転倒予防のための運動を取り入れていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「はい」の項目はいくつありましたか？

「いいえ」の項目は早急に改善しましょう！

自己チェックしてみよう！！

転倒災害防止のためのチェックリスト(従業員用)

	チェック項目	はい	いいえ
1	床の水たまりや氷、油、砂、粉類、段ボール箱、コード類などは放置せず、その都度取り除いていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	身の回りの整理・整頓を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	通路、階段、出入り口に物を放置していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	上記の1～3について、指差し呼称で確認していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	作業場や階段、通路では、走らずに慎重に行動していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	荷物を運ぶ時は、できるだけ台車を使うようにしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ポケットに手を入れたり、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	作業に適した滑りにくい靴を履いていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチや体操など転倒予防のための軽い運動を行っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「はい」の項目はいくつありましたか？

「いいえ」の項目は早急に改善しましょう！

ご安全に！

